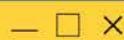


新しく転入された校長先生・教頭先生の紹介

これから、お世話になります。地域のみなさま、よろしく申し上げます。

学校名	職名	氏名	旧任校
大丸小学校	校長	秦 一成	三島村立三島硫黄島学園
大崎小学校	教頭	米 満 康 弘	龍郷町立大勝小学校
菱田小学校	教頭	出 口 正 宣	宇検村立久志小学校
中沖小学校	教頭	築 瀬 かおり	霧島市立日当山中学校
持留小学校	教頭	川 野 伸 一	鹿児島市立吉野小学校
野方小学校	教頭	上 村 浩 二	阿久根市立大川小学校
大崎中学校	教頭	中 尾 零 士	曾於市立財部中学校



まびの窓おしの庭

No.70

ふんごん みご そろ ちび くっ
玄関に綺麗つ揃えた幼児ん靴

大崎町文化協会 会長 二見 安正

この薩摩郷句はなんの変哲もない普通の平凡な句である。しかし、深読みをしてみると面白い。先ず、この句の作者は誰だろう。多分、幼児の母親だろうと思われる。幼児が幼稚園から帰って来て、靴を揃えて上がっている。母親は靴を見て今日も無事に帰って来ていると、ホッとした時に作った句かもしれない。また、幼児も年長組になり先生方の教ををよく聞き、順調に成長し親に言われなくてもできるようになったことに、安堵しているに違いない。園児服を着替え、うがいをし、手洗いを済ませて、テーブルでおやつを食べる。母親は今日あったことをいろいろ聞きながら、わが子の充実した幼稚園での生活が分かり安心したことであろう。明るい元気な幼

児のいる家庭がうかがえる句である。

子ども達は成長しながらいろいろなサインを出してくれる。服装、言葉遣い、友達関係、学習に対する態度、日常生活習慣など見逃してはならないことだ。

かわいい子には旅をさせよ。という言葉もあるように、親は子どもに夢を託しながら、近からず遠からず見守ってやるのが大切だと思う。例えばスポーツ選手でも、この喜びを誰に伝えますかと問われると、先ず両親にと、よく耳にする。誰にしても親に対して感謝の気持ちを忘れてはならない。また、親も感謝される親であるべく、子どもと共に前向きに人生を送りたいものである。